


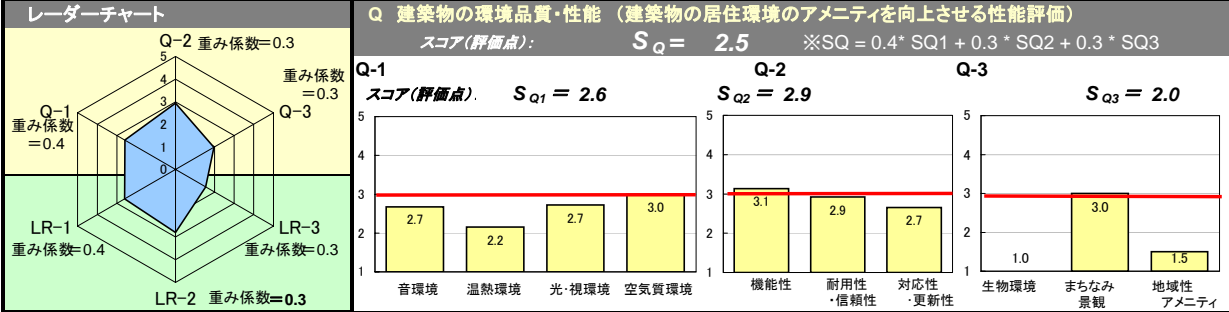
作成日 2007年7月25日 作成者 株式会社 確認日 1900年1月0日 確認者 1900/1/0

① 建物概要

建物名称	(仮称)三条京阪マンション計画			
建物用途	集合住宅			
建設地・気候区分	京都府京都市		地域区分IV	
地域・地区	商業地域、準防火地域			
竣工年	2008年7月 予定	階数	地上7F	
敷地面積	12,838 m <sup>2</sup>	構造	RC造	
建築面積	936 m <sup>2</sup>	平均居住人員	179 人	
延床面積	5,628 m <sup>2</sup>	年間使用時間	8,760 時間/年	

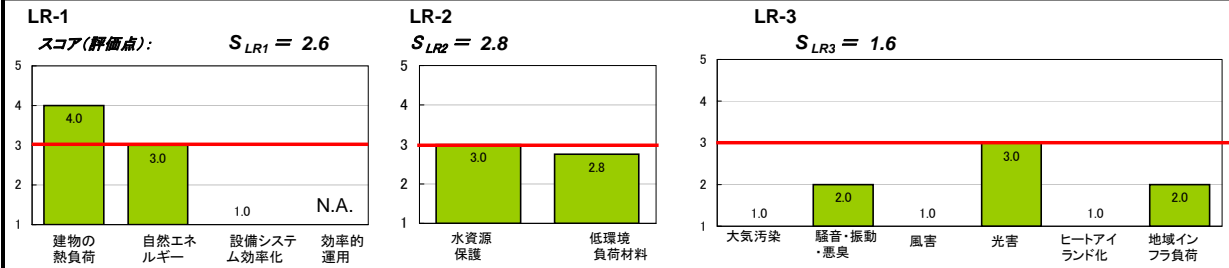
② 建築物の総合的な環境性能評価結果

②-1 建築物の環境品質・性能と環境負荷低減性(評価分野毎)

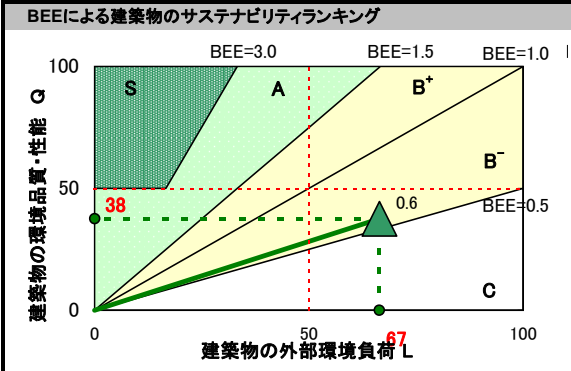


LR 建築物の環境負荷低減性 (建築物の環境負荷を低減させる性能評価)

スコア(評価点):  $S_{LR} = 2.3$  ※ $S_{LR} = 0.4 * S_{LR1} + 0.3 * S_{LR2} + 0.3 * S_{LR3}$



②-2 建築物の環境性能効率(BEE: Building Environmental Efficiency)



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の外部環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 * (S_Q - 1)}{25 * (5 - S_{LR})} = \frac{38}{67} = 0.6$$

Q = 25 \* (S<sub>Q</sub> - 1) \*S<sub>Q</sub>: Score of Q category  
 SQ = 0.4 \* SQ1 + 0.3 \* SQ2 + 0.3 \* SQ3  
 L = 25 \* (5 - S<sub>LR</sub>) \*S<sub>LR</sub>: Score of LR category  
 SLR = 0.4 \* SLR1 + 0.3 \* SLR2 + 0.3 \* SLR3

③ 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

③-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

項目	年間延床面積あたり指標		人・時間あたり指標		年間延床面積あたり削減量		削減率 %	10	20	30	40	50%
	年	m <sup>2</sup>	人	時	年	m <sup>2</sup>						
運用エネルギー消費量	MJ/年m <sup>2</sup>		MJ/人時		MJ/年m <sup>2</sup>							
運用CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		kg-CO <sub>2</sub> /人時		kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>							
水消費量	m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>		m <sup>3</sup> /人時		m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>							
LCCO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		kg-CO <sub>2</sub> /人時		kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>							
LC廃棄物量	t/年m <sup>2</sup>		t/人時		t/年m <sup>2</sup>							
LC資源消費量	t/年m <sup>2</sup>		t/人時		t/年m <sup>2</sup>							

③-2 デザインプロセスの評価

配慮項目	
設計段階	
1 有資格者による設計	
建設段階	
1 環境管理計画	

備考 注1: 評価結果の表示は①~②まで  
 注2: 敷地選定に関わる評価は対象外。当該敷地に建てられる標準的な建築物の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。  
 注3: ③の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。